

# 令和3年度 福井県立高等学校 入学者選抜実施要項

(全日制の課程および定時制の課程)

令和3年度の福井県立高等学校（以下「県立高校」という。）の全日制の課程および定時制の課程の入学者の選抜は、この要項の定めるところにより実施する。

## 第1 一般入学者選抜

### 1 募集

#### (1) 募集人員

募集人員は、募集定員から推薦入学者選抜、特色選抜、外国人生徒等特別選抜および連携型中高一貫教育校入学者選抜の合格者数を減じた数とする。

#### (2) 応募資格

県立高校に入学を志願できる者は、次のいずれかに該当する者とする。

ア 令和3年3月に中学校またはこれに準ずる学校（以下「中学校」という。）を卒業する見込みの者

イ 中学校を卒業した者

ウ 学校教育法施行規則第95条の規定により、中学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者

### 2 受験に関する事前説明（定時制の課程のみ）

(1) 志願する者および保護者（やむを得ず保護者が来校することができない場合は、志願する者および中学校の担当者）は、志願先の高校において、入学後の学校生活等について、事前に説明を受けること。ただし、志願者が成人の場合、保護者の同伴は不要とする。なお、事前説明は、複数の高校で受けることができるものとする。

(2) 事前説明期間は、令和2年11月9日（月）から令和3年2月8日（月）までの間（志願変更で出願する者は令和3年2月15日（月）から2月16日（火）までの間）とする。事前説明に当たっては、前もって当該校に連絡して来校日を決定し、受験に関する事前説明申請書（様式定第1号）に必要事項を記入し、志願先の高校に持参すること。

(3) 志願先の県立高校の校長（以下「県立高校長」という。）は、志願者が持参する受験に関する事前説明申請書を受け取り、応募資格を確認の上、入学後の学校生活等について説明し、受験に関する事前説明実施証明書を発行する。

(4) やむを得ない事情により、(2)の期間内に、志願先の高校において事前説明を受けられない者がいる場合は、卒業した中学校または現に在学する中学校の校長（以下「中学校長」という。）は、出願時に受験に関する事前説明免除申請書（様式定第2号）を添付すること。

### 3 出願

#### (1) 出願できる学校および学科

ア 志願者は、県の内外を問わず、複数の公立高等学校に出願することはできない。（特別支援学校の高等部を含む。）

イ 県立高校への出願は、1人1校1課程1学科に限る。ただし、コース、専攻を設置する学科においては、それぞれのコース（専攻を設置するものは除く。）、専攻を1学科とみなす。

なお、武生高等学校探究理科および探究文科は、探究進学科として、敦賀高等学校理数進学科および人文進学科は、文理進学科として、若狭高等学校理数探究科および国際探究科は、文理探究科として、募集する。

ウ イにかかわらず、次の表の左欄に掲げる学科・コース・専攻を志願する者は、同表の右欄に掲げる学科・コース・専攻に限り、第2志望まで出願することができる。

| 第1志望として出願する学科・コース・専攻             |                               | 第2志望として出願することができる学科・コース・専攻 |  |
|----------------------------------|-------------------------------|----------------------------|--|
| 農業、工業、商業および家庭に関する<br>大学科内の学科・コース |                               | 同一校・同一大学科内の学科・コース          |  |
| 鯖江高校                             | スポーツ専攻、健康福祉専攻<br>I T専攻、デザイン専攻 | 鯖江高校                       | スタンダードコース<br>スポーツ専攻、健康福祉専攻<br>I T専攻、デザイン専攻 |
| 鯖江高校                             | 探究科                           | 鯖江高校                       | スタンダードコース                                  |
| 武生高校                             | 探究進学科                         | 武生高校                       | 普通科  |
| 敦賀高校                             | 文理進学科                         | 敦賀高校                       | 普通科  |
| 若狭高校                             | 文理探究科                         | 若狭高校                       | 普通科  |

## (2) 出願期間

ア 出願の受付期間は、令和3年2月9日（火）から2月12日（金）までとする。

イ 受付時間は、午前9時から午後4時までとする。ただし、受付最終日は、午前9時から正午までとする。

ウ 郵送により出願する場合には、書留郵便によることとし、封筒の表に入学願書在中と朱書すること。この場合において、出願受付期間内（ただし、令和3年2月12日（金）は正午までとする。）に到着したものに限り、受け付ける。

なお、受付票返送用として、あて先を記入し、書留郵便に必要な切手を貼った封筒を同封すること。

## (3) 出願手続

ア 志願者の行う手続

(ア) 志願者は、福井県立高等学校入学願書（一般・第2次）（様式第1号。以下「入学願書」という。）に必要事項を記入し、中学校長の証明印を得て、出願期間中に願先の県立高校長に提出すること。なお、定時制の課程に出願する場合は、受験に関する事前説明実施証明書（様式定第1号）または受験に関する事前説明免除申請書（様式定第2号）を添付すること。

(イ) 入学願書には、入学審査料として、2,200円分の福井県証紙を貼り付けること。この場合において、その証紙に消印をしてはならない。

(ウ) 他の都道府県から県立高校の全日制の課程への入学を志願する者は、令和2年12月7日（月）から令和3年2月3日（水）までに、「県を越えて出願する場合の取扱い」の例により手続しなければならない。

イ 中学校長の行う手続

(ア) 中学校長は、入学願書の記載事項に誤りのないことを確認し、所定事項の記入および証明を行う。

(イ) 学力検査等の実施において、障がいや病気の状況等により受験上の配慮を必要とする志願者については、受験上の配慮申請書（様式第8号）を県立高校長に提出する。

#### ウ 県立高校長の処理

(ア) 県立高校長は、入学願書の提出を受けた場合において、記載事項について適正であると認めるときは、これを受理し、受付番号を付した上で、志願者に受付票を交付する。

(イ) 県立高校長は、入学願書等の受付期間中の毎日、その日の受付終了後、速やかに課程・学科別の入学願書の受付数をファクシミリで福井県教育委員会（以下「教育委員会」という。）に報告する。

(ウ) 受験上の配慮申請書の提出を受けた県立高校長は、障がいや病気の状況等により受験上の配慮を必要とする場合、教育委員会と協議の上、対応について検討する。

#### (4) 出願の特例

他の都道府県から県立高校全日制の課程を志願する者のうち、転勤による県外からの一家転住等のやむを得ない事情により、(2)アの期間内に出席できなかった者は、志願変更の期間内に出席することができる。ただし、令和3年2月15日（月）から2月17日（水）の正午までに、「県を越えて出願する場合の取扱い」の例により手続しなければならない。

#### (5) 出願者数の発表

ア 県立高校長は、入学願書等の受付期間中の毎日、その日の受付終了時現在の出願者数を校内に掲示する。なお、電話等による出願者数の照会には、応じないものとする。

イ 教育委員会は、入学願書等の受付期間中およびその終了後、各県立高校の課程・学科別の出願者数を発表する。

ウ 第2志望制度のある県立高校においては、入学願書等の受付期間の第1日および第2日は第1志望のみの出願者数を、最終日は第1志望および第2志望の出願者数を、県立高校長にあっては校内に掲示し、教育委員会にあっては発表する。

## 4 志願の変更

### (1) 出願した県立高校、課程または学科の変更

ア 出願した県立高校、課程または学科は、入学願書等の提出後1回に限り変更することができる。

イ 志願変更により入学願書等の返付を求めた県立高校の同一課程に再出願するときは、志願する学科を変更しなければならない。第2志望について変更がある場合も、同様に入学願書等の返付を求め、再出願しなければならない。

### (2) 志願変更期間

ア 志願変更の期間は、令和3年2月24日（水）から2月26日（金）までとする。

イ 受付時間は、午前9時から午後4時までとする。ただし、受付最終日は、午前9時から正午までとする。

ウ 郵送による志願変更の手続は、認めない。

### (3) 変更のための手続

ア 志願変更希望者の行う手続

(ア) 志願変更を希望する者（以下「志願変更希望者」という。）は、中学校長にその旨を申し出て志願変更願に証明印を受け、志願変更前の出願先の県立高校長に提出して、入学願書等の返

付を受けるものとする。ただし、県外からの出願で、志願変更の期間中に上記の処理が困難な場合においては、志願変更希望者が直接志願変更の手続をすることができる。

(イ) 志願変更希望者は、返付された入学願書に、新たに出願する県立高校、課程および学科等を記入して、新たな出願先の県立高校長に提出するものとする。

イ 中学校長の行う手続

志願変更の申出を受けた中学校長は、正当と認めた場合には、志願変更願に証明を行うものとする。

ウ 県立高校長の処理

(ア) 入学願書等の返付を求められた県立高校長は、入学願書の所定欄に志願変更承認印を押印して、志願変更願と引換えの上、本人に返付するものとする。

(イ) 志願変更希望者から入学願書等の提出を受けた県立高校長は、適正であると認めた場合には、これを受理し、受付番号を付した上で、志願者に「志願変更による入学願書受付票」を交付する。

(ウ) 県立高校長は、志願変更の期間中の毎日、その日の受付終了後、速やかに課程・学科別の出願者の増減および決定した出願者数をファクシミリで教育委員会に報告するものとする。

(4) 志願変更後の出願者数の発表

ア 県立高校長は、志願変更の期間中、その日の受付終了時現在の出願者数を校内に掲示する。なお、電話等による出願者数の照会には、応じないものとする。

イ 教育委員会は、志願変更の期間中およびその終了後、各県立高校の課程・学科別の出願者数を発表する。

ウ 第2志望制度のある県立高校においては、第1志望および第2志望の出願者数を、県立高校長にあっては校内に掲示し、教育委員会にあっては発表する。

## 5 調査書

(1) 調査書の作成

ア 中学校長は、各志願者について、福井県立高等学校入学志願者調査書（様式第4号）により調査書を作成すること。この場合において、生徒指導要録、健康診断票その他必要な資料に基づいて、厳正かつ公正に作成しなければならない。

イ 定時制の課程に入学を志願する者で、高等学校での修得単位があるものは、当該高等学校長の発行する単位修得および成績証明書（様式定通第1-1号または様式定通第1-2号）をもって調査書に代えることができる。

(2) 調査書の提出

ア 中学校長は、調査書を出願先の県立高校長に提出すること。

イ 調査書の提出期間は、令和3年3月1日（月）および3月2日（火）の両日とする。なお、3月1日（月）は午前9時から午後4時まで、3月2日（火）は午前9時から正午までとする。この場合において、郵送による提出は、原則として認めないものとする。

## 6 受験票の交付

(1) 県立高校長は、志願変更による入学願書等の受付を締め切った後に、全出願者について、受験番号を付して、受験票を交付する。

(2) 受験票の交付は、中学校ごと一括して、その中学校長に対して交付する。

## 7 学力検査等

### (1) 学力検査等の実施

ア 県立高校入学者の選抜の資料とするため、学力検査等を実施する。

イ 県立高校に入学を志願した者は、推薦入学者選抜、特色選抜、外国人生徒等特別選抜および連携型中高一貫教育校入学者選抜による合格者を除き、全員、学力検査等を受けるものとする。

ウ 学力検査等は、令和3年3月4日（木）および3月5日（金）の両日に実施する。

エ 学力検査等は、全日制の課程については国語・英語・数学・社会・理科の5教科の学力検査等とし、定時制の課程については国語・英語・数学の3教科の学力検査および面接等とする。

なお、英語および数学は大問4～6問のうち1～2問を2種類の選択問題とし、各学校・学科の特色に合わせて、各高校が教育委員会と協議の上、選択する。

オ 帰国子女および外国人子女については、外国での継続在住年数2年以上で帰国後または入国後2年以内の者に限り、本人の申出により、学力検査等を国語・英語・数学の3教科の学力検査および面接とすることができる。申出は、3月1日（月）の午後5時までとする。

カ 学力検査等の実施については、令和3年度福井県立高等学校入学者選抜のための学力検査等実施要項（以下「学力検査等実施要項」という。）による。

### (2) 一般入学者選抜学力検査追検査等の実施

ア インフルエンザ等やむを得ない理由により学力検査等を欠席した受験生に対し一般入学者選抜学力検査追検査（以下、「追検査」という。）等を実施する。

イ 県立高校に入学を希望した者が、上記アの理由で学力検査等の両日またはどちらか1日を欠席した場合、当該日の追検査等を受験することができる。

ウ 追検査等は、令和3年3月9日（火）および3月10日（水）の両日に実施する。

エ 追検査等の受験を希望する者は、令和3年3月5日（金）正午までに中学校長を通じて出願先県立高等学校長にその旨を電話で申し出る。中学校長は3月5日（金）午後4時まで一般入学者選抜学力検査追検査受験願書（様式第9号）と、追検査等受験の理由を証明する書類（医師の診断書または警察、役所・役場その他の証明書等）および受験票の写しを添えて、出願先県立高等学校長に提出する。既に中学校を卒業した志願者および県外からの志願者については、原則として保護者が手続きを行う。

オ 追検査等の実施については、学力検査等実施要項による。

### (3) 学力検査等および追検査等の会場

学力検査等および追検査等は、入学願書を提出した県立高校において行う。

## 8 選抜の方法

### (1) 入学者の選抜

ア 県立高校長は、中学校長から提出された調査書その他必要な書類、学力検査（追検査を含む。）の成績等を資料として、各高等学校、各学科等の特色に配慮しつつ、その教育を受けるに足る能力・適性等を判定した上で、入学者を選抜する。



イ 選抜に当たっては、調査書中の「学習の記録」の「評定」の第3学年の各教科の評定と学力検査（追検査を含む。）の成績を総合的に審査する。

なお、調査書中の「観点別学習状況」および他の記録についても、これを慎重に審査する。ただし、「出欠の記録」および「身体上の特記事項」については、修学不可能と認められるものを除くほかは、等差をつける資料としない。

ウ 選抜に当たっては、志願変更の有無、第2志望等の理由により等差をつけることはしない。

エ 面接等

(ア) 全日制の課程における面接を実施する学校および学科は、次のとおりとする。

| 学校名  | 学科名  |        | 学校名        | 学科名    |           | 学校名         | 学科名       |         | 学校名    | 学科名      |  |
|------|------|--------|------------|--------|-----------|-------------|-----------|---------|--------|----------|--|
| 足羽   | 普通   |        | 科学技術       | 機械システム |           | 坂井          | 食農科学      | 農業コース   | 武生商工   | 機械創造     |  |
|      | 国際   | 中国語コース |            | 情報工学   |           |             |           | 食品コース   |        | 電気情報     |  |
|      |      | 英語コース  |            | 電子電気   |           |             | 機械・自動車    | 機械コース   |        | 都市・建築    |  |
| 丹生   | 普通   |        |            | 化学システム |           |             |           | 自動車コース  |        | 商業マネジメント |  |
| 美方   | 生活情報 |        | テキスタイルデザイン |        | 電気・情報システム | 電気コース       | 情報ビジネス    |         |        |          |  |
|      | 食物   |        | 敦賀工業       | 電子機械   |           | 情報システムコース   | 生活創造      |         |        |          |  |
| 福井農林 | 生物生産 |        |            | 電気     |           | ビジネス・生活デザイン | ビジネスコース   | 地域創造    |        |          |  |
|      | 環境工学 |        |            | 建築システム |           |             | 生活デザインコース | 電子機械コース | 電気コース  |          |  |
|      | 生活科学 |        |            | 情報ケミカル |           | 奥越明成        | 機 械       |         | ビジネス情報 | 経営コース    |  |
|      | 生産流通 |        | 商 業        |        | 電 気       |             | 情報コース     |         |        |          |  |
| 福井商業 | 流通経済 |        | 流 通 経 済    |        | ビジネス情報    |             | 生活福祉      | 生活コース   |        |          |  |
|      | 会 計  |        | 会 計        |        | 福祉コース     |             |           | 福祉コース   |        |          |  |
|      | 情報処理 |        | 情 報 処 理    |        | 国際経済      |             | 国際経済      |         |        |          |  |
|      | 国際経済 |        | 国際経済       |        | 国際経済      |             | 国際経済      |         |        |          |  |
|      | 国際経済 |        | 国際経済       |        | 国際経済      |             | 国際経済      |         |        |          |  |

(イ) 定時制の課程については、すべての学校・学科で面接を実施する。なお、丸岡高校定時制、大野高校定時制、鯖江高校定時制、武生高校定時制および若狭高校定時制においては、作文も実施する。

(ウ) 面接等を実施する県立高校長は、令和2年11月30日（月）までに、具体的な実施方法、主な設問等を付した実施計画書を教育委員会に届け出るものとする。

(エ) 面接においては、細部にわたる教科の内容や家庭環境等について触れてはならない。

カ 選抜に必要なその他の調書等を必要とする県立高校長は、令和2年11月30日（月）までに、教育委員会の承認を受けなければならない。

キ 県立高校長は、調査書その他必要な書類、学力検査（追検査を含む。）の成績等による判定の結果、入学が適当と認められる者の数が募集人員に満たない場合には、教育委員会と協議の上、合格者数を募集人員内にとどめることができる。

ク 県立高校長は、募集人員を超えて合格者を決定する場合には、教育委員会と協議しなければならない。

(2) 合格者の発表

ア 県立高校長は、令和3年3月12日（金）午後2時以降に、合格者の受験番号を各県立高校のホームページに掲載する。また、中学校長を通じ本人に通知するものとする。

イ 県立高校長は、合格者の決定後速やかに、課程・学科別の合格者数をファクシミリで教育委員会に報告するものとする。

## 第2 推薦入学者選抜（全日制）

### 1 募集

(1)

実施校・実施学科・募集人員

実施校・実施学科・募集人員は、次のとおりとする。

| 学校名         | 学科名        |                  | 募集人員 |
|-------------|------------|------------------|------|
| 足 羽         | 国際         | 中国語コース           | 12   |
|             |            | 英 語コース           | 12   |
| 鯖 江         | 普通         | スポーツ・健康福祉コース     | 26   |
|             |            | スポーツ専攻<br>健康福祉専攻 |      |
|             | IT・デザインコース | IT専攻<br>デザイン専攻   | 14   |
|             | 探 究        |                  | 11   |
| 武生東         | 国 際        |                  | 24   |
| 敦 賀         | 商 業        |                  | 12   |
|             | 情報経理       |                  | 12   |
| 美 方         | 生活情報       |                  | 12   |
|             | 食 物        |                  | 12   |
| 若 狭         | 海洋科学       |                  | 12   |
| 福井農林        | 生物生産       |                  | 10   |
|             | 環境工学       |                  | 10   |
|             | 生活科学       |                  | 10   |
|             | 生産流通       |                  | 10   |
| 科学技術        | 機械システム     |                  | 12   |
|             | 情報工学       |                  | 12   |
|             | 電子電気       |                  | 12   |
|             | 化学システム     |                  | 12   |
|             | テキスタイルデザイン |                  | 12   |
| 敦賀工業        | 電子機械       |                  | 10   |
|             | 電 気        |                  | 10   |
|             | 建築システム     |                  | 10   |
|             | 情報ケミカル     |                  | 10   |
| 福井商業        | 商 業        |                  | 23   |
|             | 流通経済       |                  | 23   |
|             | 会 計        |                  | 12   |
|             | 情報処理       |                  | 23   |
|             | 国際経済       |                  | 12   |
|             | 食農科学       | 農業コース            | 13   |
|             |            | 食品コース            | 13   |
|             | 機械・自動車     | 機械コース            | 13   |
|             |            | 自動車コース           | 13   |
|             | 電気・情報システム  | 電気コース            | 13   |
| 情報システムコース   |            | 13               |      |
| ビジネス・生活デザイン | ビジネスコース    | 13               |      |
|             | 生活デザインコース  | 13               |      |
| 奥越明成        | 機 械        |                  | 10   |
|             | 電 気        |                  | 10   |
|             | ビジネス情報     |                  | 10   |
|             | 生活福祉       | 生活コース            | 11   |
|             |            | 福祉コース            | 9    |
| 武生商工        | 機械創造       |                  | 24   |
|             | 電気情報       |                  | 12   |
|             | 都市・建築      |                  | 12   |
|             | 商業マネジメント   |                  | 24   |
|             | 情報ビジネス     |                  | 24   |
| 若 狭 東       | 生活創造       |                  | 6    |
|             | 地域創造       |                  | 6    |
|             | 電気・機械      | 電子機械コース          | 6    |
|             |            | 電気コース            | 6    |
|             | ビジネス情報     | 経営コース            | 6    |
|             |            | 情報コース            | 6    |

### (2) 応募資格

推薦入学を志願できる者は、次のいずれにも該当し、かつ、中学校長の推薦を得た者とする。

- ア 令和3年3月に中学校を卒業する見込みの者であること。
- イ 志願する学科を志望する動機・理由が明白かつ適切であること。
- ウ 志願する学科に対する適性、興味・関心を有すること。
- エ 人物が優れていること。
- オ 調査書の各記録が優良であること。

## 2 出 願

### (1) 出願できる学校および学科

出願は、推薦入学の対象となる学科を有する県立高校の対象学科のうち1学科に限る。ただし、コース、専攻を設置する学科においては、それぞれのコース（専攻を設置するものは除く。）、専攻を1学科とみなす。なお、特色選抜および外国人生徒等特別選抜との併願は認めない。

### (2) 出願期間

ア 福井県立高等学校入学願書（推薦・連携型中高一貫教育校）（様式第2号。以下「推薦入学願書」という。）の受付期間は、令和3年1月12日（火）および1月13日（水）とする。

イ 受付時間は、午前9時から午後4時までとする。

### (3) 出願手続

#### ア 志願者の行う手続

（ア）推薦入学志願者は、推薦入学願書に必要事項を記入し、中学校長に提出すること。なお、推薦入学願書には、入学審査料として、2,200円分の福井県証紙を貼り付けること。この場合において、その証紙に消印をしてはならない。

（イ）他の都道府県から志願する者は、令和2年12月7日（月）から令和3年1月4日（月）までに、「県を越えて出願する場合の取扱い」の例により手続しなければならない。

#### イ 中学校長の行う手続

中学校長は、推薦入学志願者の提出した推薦入学願書の記載事項に誤りのないことを確認した上で、次の書類を添付し、出願先の県立高校長に提出する。

（ア）推薦書（様式第5号）

（イ）福井県立高等学校入学志願者調査書（様式第4号）

また、障がいや病気の状況等により受験上の配慮を必要とする志願者については、受験上の配慮申請書（様式第8号）を県立高校長に提出する。

### (4) 被推薦者の決定

中学校長は、1(2)の応募資格について十分配慮し、厳正かつ公平を期して被推薦者を決定するものとする。

### (5) 県立高校長の処理

ア 県立高校長は、推薦入学に係る提出書類を受け付けた場合において、記載事項について適正であると認めるときは、これを受理し、受付番号を付した上で、志願者に受付票を交付する。

イ 県立高校長は、全出願者について受験番号を付し、推薦・連携型中高一貫教育校入学受験票を速やかに交付する。なお、受験票の交付は、中学校ごとに一括して、その中学校長に対して行う。

## 3 出願者数の発表

(1) 県立高校長は、入学願書の受付期間中の毎日、その日の受付終了時現在の出願者数を校内に掲示する。なお、電話等による出願者数の照会には、応じないものとする。

(2) 教育委員会は、入学願書の受付期間中およびその終了後、各県立高校の課程・学科別の出願者数を発表する。



## 4 面接等の実施

- (1) 推薦入学者の選抜は、調査書および面接により実施し、必要に応じ、作文、実技試験を取り入れることができる。
- (2) 面接、作文、実技試験は、出願先の県立高校において、令和3年1月19日（火）に行う。

## 5 入学者の選抜

- (1) 県立高校長は、中学校長から提出された調査書その他必要な書類、面接等の結果を資料として、各高等学校、各学科等の特色に配慮しつつ、その教育を受けるに足る能力・適性等を判定した上で、入学者を選抜する。
- (2) 選抜に当たっては、調査書中の「学習の記録」の「評定」の第3学年の各教科の評定と面接等の結果を総合的に審査する。なお、調査書中の「観点別学習状況」および他の記録についても、これを慎重に審査する。ただし、「出欠の記録」および「身体上の特記事項」については、修学不可能と認められるものを除くほかは、等差をつける資料としない。
- (3) 県立高校長は、令和2年11月30日（月）までに、推薦入学者選抜実施計画書を教育委員会に届け出るものとする。ただし、具体的な実施方法、主な設問等を記入すること。
- (4) 面接においては、教科の細部にわたる内容や家庭環境等について触れてはならない。
- (5) 県立高校長は、選抜の結果、教育委員会と協議して、募集人員を超えて合格させること、または募集人員内にとどめることができる。

## 6 合格者への通知

県立高校長は、令和3年1月21日（木）午後2時に、合格した旨を中学校長を通じ、本人に通知するものとする。ただし、合格者の発表は、令和3年3月12日（金）午後2時以降に各県立高校のホームページに受験番号を掲載する。

## 7 出願者数および合格者数の報告

出願者数および合格者数の教育委員会への報告は、一般入学者選抜の例により行う。

## 8 選抜に漏れた者の取扱い

選抜に漏れた者が一般入学者選抜を受験する場合には、改めて出願し直すこと。

### 第3 特色選抜

#### 1 募集

(1) 実施校・実施学科・実施種目・募集人員

実施校・実施学科・実施種目・募集人員は、次のとおりとする。

| 学校名 | 学科名  |  | 実施種目および募集人員  | 備考      |
|-----|------|--|--|---------|
| 足羽  | 普通   |  | バスケットボール(男女) [6]      ライフル射撃(男女) [4]<br>バドミントン(男女) [5]      陸上競技(男女) [5]<br>硬式野球(男) [3]      美術(男女) [2]                    |         |
| 羽水  | 普通   |  | ボクシング(男) [4]      ハンドボール(男) [4]<br>なぎなた(女) [3]      邦楽[琴](女) [4]<br>吹奏楽(男女) [3]      生徒会・ボランティア活動等(男女) [4]<br>課題探究(男女) [3] |         |
| 金津  | 普通   |  | カヌー(男女) [4]      ソフトテニス(男) [4]<br>硬式野球(男) [5]      吹奏楽(男女) [4]   |         |
| 丸岡  | 普通   |  | サッカー(男) [11]      新体操(女) [4]<br>剣道(男女) [7]      地域貢献・国際交流(男女) [4]  |         |
| 三国  | 普通   |  | セーリング(男女) [4]      ソフトボール(女) [6]<br>硬式野球(男) [3]      吹奏楽(男女) [4]<br>かるた(男女) [3]      地域探究(男女) [3]                          |         |
| 大野  | 普通   |  | スキー[アルペン](男女) [3]      バレーボール(男) [3]<br>卓球(男女) [3]      硬式野球(男) [3]  |         |
| 勝山  | 普通   |  | バドミントン(男女) [7]<br>スキー[クロスカントリー](男女) [3]  |         |
| 鯖江  | 普通   | スタンダードコース  | 生徒会活動・ボランティア等社会活動(男女) [3]  | 14人以内   |
|     |      | スポーツ・健康福祉コース   | 健康福祉専攻<br>なぎなた(女) [3]      陸上競技[駅伝を除く](男女) [4]<br>バレーボール(男) [3]      アーチェリー(男女) [3]<br>硬式野球(男) [3]      吹奏楽(男女) [3]        | 4人以内    |
|     |      | IT・デザインコース   | IT専攻   | 4人以内    |
|     |      | デザイン専攻   | ※スポーツ専攻は特色選抜による募集をしない。   | 4人以内    |
| 武生東 | 普通   |  | 課題探究・地域貢献(男女) [3]  |         |
| 丹生  | 普通   |  | ホッケー(男女) [13]      硬式野球(男) [4]   |         |
| 敦賀  | 普通   | 陸上競技(男女) [9]      剣道(男女) [7]<br>ソフトテニス(男) [3]      卓球(男女) [5]<br>柔道(男女) [4]      硬式野球(男) [5] |  | 36人以内   |
|     | 商業   | 吹奏楽(男女) [4]  |  | 各学科3人以内 |
|     | 情報経理 |  |  |         |
| 美方  | 普通   |  | ボート(男女) [9]      剣道(男女) [7]<br>陸上競技[駅伝](男女) [8]      硬式野球(男) [3]<br>吹奏楽(男女) [3]  |         |
| 若狭  | 普通   |  | ボート(男女) [5]      硬式野球(男) [5]   |         |
|     | 文理探究 |  | 探究(男女) [17]  |         |

| 学校名  | 学科名                  | 実施種目および募集人員  | 備考      |
|------|----------------------|--|---------|
| 福井農林 | 生物生産                 | レスリング(男) [4] 相撲(男) [4]<br>バレーボール(男) [4] 郷土芸能(男女) [5]   | 各学科5人以内 |
|      | 環境工学                 |  |         |
|      | 生活科学                 |  |         |
|      | 生産流通                 |  |         |
| 科学技術 | 機械システム               | 自転車(男女) [3] ライフル射撃(男女) [3]<br>新体操(男) [3] プログラミングコンテスト(男女) [3]<br>ロボットコンテスト(男女) [3]                                   | 各学科4人以内 |
|      | 情報工学                 |  |         |
|      | 電子電気                 |  |         |
|      | 化学システム<br>テキスタイルデザイン |  |         |
| 敦賀工業 | 電子機械                 | ボート(男女) [5] 硬式野球(男) [3]  | 各学科4人以内 |
|      | 電気                   |  |         |
|      | 建築システム<br>情報ケミカル     |  |         |
| 福井商業 | 商業                   | ハンドボール(女) [4] 卓球(男女) [6]<br>バレーボール(女) [4] バスケットボール(男女) [5]<br>ソフトテニス(女) [4] ソフトボール(女) [6]<br>サッカー(男) [6] 硬式野球(男) [5] | 14人以内   |
|      | 流通経済                 |  | 14人以内   |
|      | 会計                   |  | 4人以内    |
|      | 情報処理                 |  | 14人以内   |
|      | 国際経済                 |  | 4人以内    |
| 坂井   | 食農科学                 | ウエイトリフティング(男女) [3] 自転車(男女) [4]<br>硬式野球(男) [5]  | 各学科4人以内 |
|      | 農業コース<br>食品コース       |  |         |
|      | 機械・自動車               |  |         |
|      | 電気・情報システム            |  |         |
|      | ビジネス・生活デザイン          |  |         |
| 奥越明成 | 機械                   | 相撲(男) [3]  | 各学科3人以内 |
|      | 電気                   |  |         |
|      | ビジネス情報               |  |         |
|      | 生活福祉                 |  |         |
| 武生商工 | 機械創造                 | ボクシング(男) [4] フェンシング(男女) [4]<br>硬式野球(男) [3] 吹奏楽(男女) [8]<br>ロボットコンテスト(男女) [3]  | 10人以内   |
|      | 電気情報                 |  | 5人以内    |
|      | 都市・建築                |  | 5人以内    |
|      | 商業マネジメント<br>情報ビジネス   |  | 10人以内   |
| 若狭東  | 生活創造                 | ボート(男女) [6]<br>ウエイトリフティング(男女) [3]<br>ラグビーフットボール(男) [4]<br>レスリング(男) [3]   | 各学科5人以内 |
|      | 地域創造                 |  |         |
|      | 電気・機械                |  |         |
|      | ビジネス情報               |  |         |

## (2) 応募資格

特色選抜を志願できる者は、次のいずれにも該当する者とする。

ア 令和3年3月に中学校を卒業する見込みの者であること。

イ 各校の特色を理解し、志願理由が明白かつ適切であること。

ウ 各実施校における次の資格要件を満たすこと。

| 学校名 | 種目            | 男女 | 資格要件   |
|-----|---------------|----|--|
| 足羽  | バスケットボール      | 男女 | 本校で学業との両立に励み、部活動、学校生活等でリーダーとしての活躍が期待でき、かつ次のいずれかに該当する者<br>① 県大会ベスト8以上の実績を有する者<br>② 県選抜・地区選抜選手に選ばれた実績を有する者<br>③ ①または②と同等の能力を有する者   |
|     | ライフル射撃        | 男女 | 本校で学業との両立に励み、部活動、学校生活等でリーダーとしての活躍が期待でき、かつ次のいずれかに該当する者<br>① 本校またはライフル射撃協会主催の体験会に参加し、本校ライフル射撃部で全国大会上位入賞を目指し3年間取り組む意志を有する者<br>② バランス感覚に自信があり、本校ライフル射撃部で全国大会上位入賞を目指し3年間取り組む意志を有する者 |
|     | バドミントン        | 男女 | 本校で学業との両立に励み、部活動、学校生活等でリーダーとしての活躍が期待でき、かつ次のいずれかに該当する者<br>① 団体または個人で、県大会ベスト8以上の実績を有する者<br>② 県選抜・地区選抜選手に選ばれた実績を有する者<br>③ ①または②と同等の能力を有する者  |
|     | 陸上競技          | 男女 | 本校で学業との両立に励み、部活動、学校生活等でリーダーとしての活躍が期待でき、かつ次のいずれかに該当する者<br>① 県大会8位入賞以上の実績を有する者<br>② 県や地区の代表選手に選ばれた実績を有する者<br>③ ①または②と同等の能力を有する者  |
|     | 硬式野球          | 男  | 本校で学業との両立に励み、部活動、学校生活等でリーダーとしての活躍が期待でき、かつ次のいずれかに該当する者<br>① 県大会ベスト4以上の実績を有する者<br>② 県選抜・地区選抜選手に選ばれた実績を有する者<br>③ ①または②と同等の能力を有する者   |
|     | 美術            | 男女 | 本校で学業との両立に励み、部活動、学校生活等でリーダーとしての活躍が期待でき、かつ次のいずれかに該当する者<br>① 美術に関する能力・適性が特に優れている者<br>② 県内外の絵画やポスターコンクール等で入賞経験のある者<br>③ 志望する動機・理由が明白かつ適切である者                                      |
| 羽水  | ボクシング         | 男  | 本校で学業との両立に励み、部活動でリーダーとしての活躍が期待でき、かつ次のいずれかに該当する者<br>① 本校または県ボクシング連盟主催のボクシング体験に参加し、本校ボクシング部で3年間取り組む意志がある者<br>② 体力に自信があり、本校ボクシング部で3年間取り組む意志がある者                                   |
|     | ハンドボール        | 男  | 本校で学業との両立に励み、部活動でリーダーとしての活躍が期待でき、かつ次のいずれかに該当する者<br>① 全国大会・北信越大会に出場または県大会でベスト4以上の実績を有する者<br>② ①と同等の能力を有する者  |
|     | なぎなた          | 女  | 本校で学業との両立に励み、部活動でリーダーとしての活躍が期待でき、かつ次のいずれかに該当する者<br>① 本校、県なぎなた連盟または全日本なぎなた連盟主催のなぎなた体験や大会に参加した経験があり、本校なぎなた部で3年間取り組む意志がある者<br>② 体力に自信があり、本校なぎなた部で3年間取り組む意志がある者                    |
|     | 邦楽〔琴〕         | 女  | 本校で学業との両立に励み、部活動でリーダーとしての活躍が期待でき、かつ次のすべてに該当する者<br>ア 琴演奏の経験を有する者<br>イ 志望する動機・理由が明白かつ適切である者  |
|     | 吹奏楽           | 男女 | 本校で学業との両立に励み、部活動でリーダーとしての活躍が期待でき、かつ次のいずれかに該当する者<br>① コンクールやコンテストで県大会金賞以上の実績を収めた団体の中心メンバー（部長、副部長、パートリーダー等）として活躍した者<br>② ①と同等の能力を有する者  |
|     | 生徒会・ボランティア活動等 | 男女 | 中学校在学時に、次のいずれかに該当する者で、本校入学後もそれらの活動を継続する意志のある者、またはそれらの活動の経験を活かした学校生活を送る意志のある者<br>① 生徒会活動において、会長、副会長等として活躍した実績を有する者<br>② ボランティア活動等において継続的に活動し、中心的メンバーとして活躍した実績を有する者              |
|     | 課題探究          | 男女 | 中学校在学時に、次のいずれかに該当する者で、本校入学後、率先して課題探究活動に取り組むことが期待できる者<br>① 地域や社会の課題解決に関する活動を行い、その成果を校外に発信（コンクールで発表、審査会に応募、各種発表会でプレゼンテーションする等）した経験を有する者<br>② 自主的にテーマを定め、課題探究活動に、継続的に取り組んだ実績を有する者 |
| 金津  | カヌー           | 男女 | 本校で学業との両立に励み、部活動でリーダーとしての活躍が期待でき、かつ次のいずれかに該当する者<br>① 本校または県カヌー協会主催のカヌー体験に参加し、本校カヌー部でスプリント競技に3年間取り組む意志がある者<br>② 体力に自信があり、本校カヌー部でスプリント競技に3年間取り組む意志がある者                           |
|     | ソフトテニス        | 男  | 本校で学業との両立に励み、部活動でリーダーとしての活躍が期待でき、かつ次のいずれかに該当する者<br>① 団体または個人で、全国大会・北信越大会に出場または県大会でベスト8以上の実績を有する者<br>② 全国大会の県選抜選手に選ばれた者<br>③ ①または②と同等の能力を有する者                                   |
|     | 硬式野球          | 男  | 本校で学業との両立に励み、部活動でリーダーとしての活躍が期待でき、かつ次のいずれかに該当する者<br>① 全国大会・北信越大会に出場または県大会でベスト4以上の実績を有する者<br>② 県選抜・地区選抜選手に選ばれ、大会に出場の実績を有する者<br>③ ①または②と同等の能力を有する者                                |
|     | 吹奏楽           | 男女 | 本校で学業との両立に励み、部活動でリーダーとしての活躍が期待でき、かつ次のいずれかに該当する者<br>① 県大会以上のコンクール・コンテスト（団体または個人）で優れた成績を収めた実績を有する者<br>② ①と同等の能力を有する者   |

| 学校名  | 種目                | 男女   | 資格要件  |
|------|-------------------|--|---|
| 丸岡   | サッカー              | 男  | 次のいずれかに該当する者<br>① 県内大会（地区大会を含む）でベスト4以上の実績を有し、中心選手として活躍した者<br>② 県選抜・地区選抜選手に選ばれた者<br>③ ①または②と同等の能力を有する者および、有するに相応しい競技力を持つと判断する者                 |
|      | 新体操               | 女  | 次のいずれかに該当する者<br>① 団体または個人で、全国大会・北信越大会に出場の実績を有する者<br>② 団体または個人で、県内大会（地区大会を含む）でベスト4以上の実績を有する者<br>③ ①または②と同等の能力を有する者および、有するに相応しい競技力を持つと判断する者     |
|      | 剣道                | 男女   | 次のいずれかに該当する者<br>① 団体または個人で、全国大会・北信越大会に出場の実績を有する者<br>② 団体または個人で、県内大会（地区大会を含む）でベスト4以上の実績を有する者<br>③ ①または②と同等の能力を有する者および、有するに相応しい競技力を持つと判断する者     |
|      | 地域貢献・国際交流         | 男女   | 小・中学校在学時に、地域活動（ボランティア活動含む）や国際交流活動等において継続的に活動（団体活動においては中心的メンバーとして活躍）した実績を有し、本校入学後も地域との探究的な協働活動等を継続して行う意志のある者                                   |
| 三国   | セーリング             | 男女   | 本校で学業との両立に励み、学校生活等でリーダーとしての活躍ができ、かつ次のいずれかに該当する者<br>① 中学3年時の新体力テストで総合評価がA段階の者<br>② 中学校の運動部や県選抜チーム等で県大会上位の実績を有する者<br>③ ①または②と同等の能力を有する者         |
|      | ソフトボール            | 女  | 本校で学業との両立に励み、学校生活等でリーダーとしての活躍ができ、かつ次のいずれかに該当する者<br>① 全国大会・北信越大会に出場の実績を有し、中心選手として活躍した者<br>② 県大会ベスト4以上の実績を有し、中心選手として活躍した者<br>③ ①または②と同等の能力を有する者 |
|      | 硬式野球              | 男  | 本校で学業との両立に励み、学校生活等でリーダーとしての活躍ができ、かつ次のいずれかに該当する者<br>① 県大会ベスト4以上の実績を有し、中心選手として活躍した者<br>② ①と同等の能力を有する者   |
|      | 吹奏楽               | 男女   | 本校で学業との両立に励み、学校生活等でリーダーとしての活躍ができ、かつ次のいずれかに該当する者<br>① 県大会以上のコンクールやコンテストで優れた成績を収めた実績を有する者<br>② ①と同等の能力を有する者                                     |
|      | かるた               | 男女   | 本校で学業との両立に励み、学校生活等でリーダーとしての活躍ができ、かつ次のいずれかに該当する者<br>① 県かるた協会の3級以上の級位を取得している者<br>② 全日本かるた協会の段位を取得している者<br>③ ①または②と同等の能力を有する者                    |
| 地域探究 | 男女                | 本校で学業との両立に励み、学校生活等でリーダーとしての活躍ができ、かつ次のいずれかに該当する者<br>① 地域や社会の問題解決に関する活動を行い、その成果を発信（コンクールで発表、審査会に応募、各種発表会でのプレゼンテーション等）した経験を有する者<br>② 自主的にテーマを定めた探究活動を、継続的に取り組んだ経験を有する者<br>③ 地域の行事や伝統文化、ジュニアリーダー等の活動に継続的に参加している者 |   |
| 大野   | スキー<br>[アルペン]     | 男女   | 次のいずれかに該当する者<br>① 全国大会・中部日本大会に出場の実績を有する者<br>② 県大会でベスト8以上の実績を有する者<br>③ アルペンスキーに関する能力・適性があり、志望する動機・理由が明白かつ適切である者                                |
|      | バレーボール            | 男  | 次のいずれかに該当する者<br>① 県大会・地区大会で選手として活躍した者<br>② バレーボールに関する能力・適性があり、志望する動機・理由が明白かつ適切である者  |
|      | 卓球                | 男女   | 次のいずれかに該当する者<br>① 団体または個人で、県大会（県中体連・県卓球協会主催の大会）に出場の実績を有する者<br>② 卓球に関する能力・適性があり、志望する動機・理由が明白かつ適切である者   |
|      | 硬式野球              | 男  | 次のいずれかに該当する者<br>① 県大会以上の大会に出場の実績を有し、中心選手として活躍した者<br>② 野球に関する能力・適性があり、志望する動機・理由が明白かつ適切である者   |
| 勝山   | バドミントン            | 男女   | 本校を志望する動機・理由が明白かつ適切である者で、次のいずれかに該当する者<br>① 団体または個人で、県大会ベスト8以上の実績を有する者<br>② ①と同等の能力を有する者   |
|      | スキー<br>[クロスカントリー] | 男女   | 本校を志望する動機・理由が明白かつ適切である者で、次のいずれかに該当する者<br>① 県外大会出場の実績を有する者<br>② ①と同等の能力を有する者   |



| 学校名 | 種目                | 男女 | 資格要件  |
|-----|-------------------|----|---|
| 鯖江  | 生徒会活動・ボランティア等社会活動 | 男女 | 中学在学時に、以下のいずれかに該当する者で、本校入学後もそれらの活動を継続して取り組む意志がある者<br>① 生徒会長や副会長等として生徒会活動で活躍した実績を有する者<br>② 各種ボランティア活動に自主的かつ継続的に参加している者<br>③ 伝統文化・地域行事、ジュニアリーダー等の活動に継続的に参加している者   |
|     | なぎなた              | 女  | 次のいずれかに該当する者<br>① 団体または個人で、全国大会・北信越大会に出場の実績を有する者<br>② 団体または個人で、県大会でベスト8以上の実績を有する者<br>③ ①または②と同等の能力を有する者   |
|     | 陸上競技<br>[駅伝を除く]   | 男女 | 次のいずれかに該当する者<br>① 短距離種目・障害種目または跳躍種目において、全国大会・北信越大会に出場の実績を有する者<br>② 短距離種目・障害種目または跳躍種目において、県大会でベスト8以上の実績を有する者<br>③ ①または②と同等の能力を有する者   |
|     | バレーボール            | 男  | 次のいずれかに該当する者<br>① 全国大会・北信越大会に出場の実績を有し、中心選手として活躍した者<br>② 県大会でベスト8以上の実績を有し、中心選手として活躍した者<br>③ ①または②と同等の能力を有する者   |
|     | アーチェリー            | 男女 | 次のすべてに該当する者<br>ア アーチェリーに関する能力・適性が特に優れている者<br>イ 志望する動機・理由が明白かつ適切である者   |
|     | 硬式野球              | 男  | 次のいずれかに該当する者<br>① 全国大会、北信越大会に出場の実績を有し、中心選手として活躍した者<br>② ①と同等の能力を有する者  |
|     | 吹奏楽               | 男女 | 次のいずれかに該当する者<br>① コンクールやコンテストで県大会金賞以上の成績を取った団体の中心メンバー（パートリーダー等）として活躍した者<br>② ソロコンテストで①と同様の成績を取った者<br>③ ①または②と同等の能力を有する者   |
| 武生東 | 課題探究・地域貢献         | 男女 | 中学校在学時に、次のいずれかに該当する者で、本校入学後、率先して諸活動に取り組む意志がある者<br>① 地域や社会の問題解決に関する考えを発信（コンクールで発表、審査会に応募等）し、入賞等の実績を持つ者<br>② 自主的にテーマを定めた探究活動を継続的に実施している者<br>③ 各種ボランティア活動に自主的（学校単位の活動は除く）かつ継続的に参加している者<br>④ ボーイスカウト、ガールスカウト、ジュニアリーダー等の青少年育成団体に所属し、継続的な活動をしている者<br>⑤ 伝統文化・行事に係る活動を継続的に実施している者 |
| 丹生  | ホッケー              | 男女 | 次のいずれかに該当する者<br>① 全国大会・北信越大会に出場の実績を有し、中心選手として活躍した者<br>② ①と同等の能力を有する者  |
|     | 硬式野球              | 男  | 次のいずれかに該当する者<br>① 全国大会・北信越大会出場または県大会でベスト4以上の実績を有し、中心選手として活躍した者<br>② ①と同等の能力を有する者  |
| 敦賀  | 陸上競技              | 男女 | 次のいずれかに該当する者<br>① 全国大会・北信越大会に出場の実績を有する者<br>② 県大会でベスト4以上の実績を有する者<br>③ ①または②と同等の能力を有する者   |
|     | 剣道                | 男女 | 次のいずれかに該当する者<br>① 団体または個人で、全国大会・北信越大会に出場の実績を有する者<br>② 県大会で団体ベスト4以上または個人ベスト8以上の実績を有する者<br>③ ①または②と同等の能力を有する者   |
|     | ソフトテニス            | 男  | 次のいずれかに該当する者<br>① 団体または個人で、全国大会・北信越大会に出場の実績を有する者<br>② 団体または個人で、県大会でベスト4以上の実績を有する者<br>③ ①または②と同等の能力を有する者   |
|     | 卓球                | 男女 | 次のいずれかに該当する者<br>① 団体または個人で、全国大会・北信越大会に出場の実績を有する者<br>② 県大会で団体ベスト4以上または個人ベスト8以上の実績を有する者<br>③ ①または②と同等の能力を有する者   |
|     | 柔道                | 男女 | 次のいずれかに該当する者<br>① 団体または個人で、全国大会・北信越大会に出場の実績を有する者<br>② 団体または個人で、県大会でベスト4以上の実績を有する者<br>③ ①または②と同等の能力を有する者   |
|     | 硬式野球              | 男  | 次のいずれかに該当する者<br>① 全国大会・北信越大会に出場の実績を有し、中心選手として活躍した者<br>② 県大会でベスト4以上の実績を有し、中心選手として活躍した者<br>③ ①または②と同等の能力を有する者   |
|     | 吹奏楽               | 男女 | 次のいずれかに該当する者<br>① コンクールやコンテストで県大会金賞以上の成績を取った団体の中心メンバー（パートリーダー等）として活躍した者<br>② ソロコンテストで①と同様の成績を取った者<br>③ ①または②と同等の能力を有する者   |

| 学校名  | 種目               | 男女 | 資格要件  |
|------|------------------|----|---|
| 美方   | ボート              | 男女 | 次のいずれかに該当する者<br>① 運動部で県大会に出場の実績を有する者<br>② ①と同等の能力を有する者  |
|      | 剣道               | 男女 | 次のいずれかに該当する者<br>① 団体または個人で、全国大会・北信越大会に出場の実績を有する者<br>② 団体または個人で、県大会でベスト8以上の実績を有する者<br>③ ①または②と同等の能力を有する者                           |
|      | 陸上競技<br>[駅伝]     | 男女 | 次のいずれかに該当する者<br>① 県大会に出場以上の実績を有する者<br>② ①と同等の能力を有する者  |
|      | 硬式野球             | 男  | 次のいずれかに該当する者<br>① 全国大会・北信越大会に出場の実績を有し、中心選手として活躍した者<br>② 県大会でベスト4以上の実績を有し、中心選手として活躍した者<br>③ ①または②と同等の能力を有する者                       |
|      | 吹奏楽              | 男女 | 次のいずれかに該当する者<br>① 楽器の演奏に関する技術や能力が優れており、志望する動機・理由が明白かつ適切である者<br>② 中学校の吹奏楽部の活動において中心的メンバーまたはリーダーとして活躍した者                            |
| 若狭   | ボート              | 男女 | 次のすべてに該当する者<br>ア 体格、身体能力、持久的能力のいずれかが優れている者<br>イ 本校ボート部で3年間、粘り強く取り組む意志がある者   |
|      | 硬式野球             | 男  | 次のいずれかに該当する者<br>① 野球に関する能力・適性に優れており、高い意欲を有する者で、県大会（県中体連主催の大会）に出場した者<br>② 全国大会の県選抜選手に選ばれた者<br>③ ①または②と同等の能力を有する者                   |
|      | 探究               | 男女 | 次のすべてに該当する者<br>ア 高い学力を有し、目標実現に向けて主体的に学び続ける意志がある者<br>イ 自ら課題を設定し、他者と協働して解決策を考え、より良い社会を実現する志を持つ者                                     |
| 福井農林 | レスリング            | 男  | 次のいずれかに該当する者<br>① レスリング競技の経験が3年以上の者<br>② 中学校で3年間レスリング競技に類する運動部に所属していた者<br>③ 運動部で全国大会・北信越大会に出場の実績を有する者<br>④ 運動部で県大会でベスト8以上の実績を有する者 |
|      | 相撲               | 男  | 次のいずれかに該当する者<br>① 個人で全国大会・北信越大会に出場の実績を有する者<br>② 個人で県大会でベスト4以上の実績を有する者<br>③ ①または②と同等の能力を有する者で、志望する動機・理由が明白かつ適切である者                 |
|      | バレーボール           | 男  | 次のいずれかに該当する者<br>① 全国大会・北信越大会または県大会にレギュラーとして出場の実績を有する者<br>② 小学生県選抜または中学生県選抜もしくは地区選抜選手に選ばれた者<br>③ ①または②と同等の能力を有する者                  |
|      | 郷土芸能             | 男女 | 次のいずれかに該当する者<br>① 県大会以上の和太鼓コンクールで個人または団体として優れた成績を収めた実績を有する者<br>② ①と同等の能力を有する者<br>③ 打楽器に関する能力・適性が優れており、志望する動機・理由が明白かつ適切である者        |
| 科学技術 | 自転車              | 男女 | 自転車競技に興味があり、次のいずれかに該当する者<br>① 自転車競技の経験がある者<br>② 運動部の県大会で上位入賞の実績を有する者<br>③ ①または②と同等の能力を有する者  |
|      | ライフル射撃           | 男女 | ライフル射撃競技に興味があり、法令順守の意識が高く、かつ次のいずれかに該当する者<br>① ライフル射撃協会等で活動経験がある者<br>② 運動部の県大会で上位入賞の実績がある者<br>③ ①または②と同等の能力を有する者                   |
|      | 新体操              | 男  | 新体操競技に興味があり、次のいずれかに該当する者<br>① 新体操競技、体操競技、トランポリン競技の経験がある者<br>② 体を使って表現することが得意で、ダンス等の経験がある者   |
|      | プログラミング<br>コンテスト | 男女 | プログラミングに興味があり、次のいずれかに該当する者<br>① プログラミングコンテストに出場した経験がある者（入賞経験があることが望ましい）<br>② 各種情報処理技術者試験に合格した者<br>③ ①または②と同等の能力を有する者              |
|      | ロボット<br>コンテスト    | 男女 | ロボット製作に興味があり、次のいずれかに該当する者<br>① 創造アイデアロボットコンテスト、WRO等の大会に出場した者（入賞経験があることが望ましい）<br>② ものづくりが得意で、ロボット等を製作した経験がある者                      |
| 敦賀工業 | ボート              | 男女 | 次のすべてに該当する者<br>ア 中学3年時の新体力テストにおいて総合評価B段階以上の者、またはボート競技に関する高い身体適性を持つ者<br>イ 志望する動機・理由が明白かつ適切である者                                     |
|      | 硬式野球             | 男  | 次のいずれかに該当する者<br>① 地区大会等で優勝または準優勝の実績を有し、中心選手として活躍した者<br>② ①と同等の能力を有し、チームリーダーとして本校での活躍が期待できる者                                       |

| 学校名  | 種目         | 男女 | 資格要件   |
|------|------------|----|--|
| 福井商業 | ハンドボール     | 女  | 次のいずれかに該当する者<br>① 全国大会・北信越大会に出場または県大会でベスト4以上の実績を有し、中心選手として活躍した者<br>② 全国大会の県選抜選手に選ばれた者<br>③ ①または②と同等の能力を有する者                                |
|      | 卓球         | 男女 | 次のいずれかに該当する者<br>① 団体または個人で、全国大会・北信越大会に出場の実績を有する者<br>② 県大会で団体ベスト4以上の実績を有し、中心選手として活躍した者<br>③ 県大会で個人ベスト8以上の実績を有する者<br>④ ①から③のいずれかと同等の能力を有する者  |
|      | バレーボール     | 女  | 次のいずれかに該当する者<br>① 全国大会・北信越大会に出場または県大会でベスト4以上の実績を有し、中心選手として活躍した者<br>② 全国大会の県選抜選手に選ばれた者<br>③ ①または②と同等の能力を有する者                                |
|      | バスケットボール   | 男女 | 次のいずれかに該当する者<br>① 全国大会・北信越大会に出場または県大会でベスト4以上の実績を有し、中心選手として活躍した者<br>② 全国大会の県選抜選手に選ばれた者<br>③ ①または②と同等の能力を有する者                                |
|      | ソフトテニス     | 女  | 次のいずれかに該当する者<br>① 団体または個人で、全国大会・北信越大会に出場の実績を有する者<br>② 県大会で団体ベスト4以上の実績を有し、中心選手として活躍した者<br>③ 県大会で個人ベスト16以上の実績を有する者<br>④ ①から③のいずれかと同等の能力を有する者 |
|      | ソフトボール     | 女  | 次のいずれかに該当する者<br>① 全国大会・北信越大会に出場または県大会でベスト4以上の実績を有し、中心選手として活躍した者<br>② 全国大会の県選抜選手に選ばれた者<br>③ ①または②と同等の能力を有する者                                |
|      | サッカー       | 男  | 次のいずれかに該当する者<br>① 全国大会・北信越大会に出場または県大会でベスト4以上の実績を有し、中心選手として活躍した者<br>② 全国大会の県選抜選手に選ばれた者<br>③ ①または②と同等の能力を有する者                                |
|      | 硬式野球       | 男  | 次のいずれかに該当する者<br>① 全国大会・北信越大会に出場または県大会でベスト4以上の実績を有し、中心選手として活躍した者<br>② 全国大会の県選抜選手に選ばれた者<br>③ ①または②と同等の能力を有する者                                |
| 坂井   | ウェイトリフティング | 男女 | 次のいずれかに該当する者<br>① 陸上、柔道または体操の県大会でベスト4以上の実績を有する者<br>② 立幅跳びにおいて男子260cm、女子215cm以上の瞬発力を持つ者<br>③ ①または②と同等の能力を有する者                               |
|      | 自転車        | 男女 | 次のいずれかに該当する者<br>① 全国大会・北信越大会に出場または県大会でベスト4以上の実績を有し、中心選手として活躍した者<br>② 県選抜・地区選抜選手に選ばれた者<br>③ ①または②と同等の能力を有する者                                |
|      | 硬式野球       | 男  | 次のいずれかに該当する者<br>① 県大会・地区大会で上位入賞の実績を有し、中心選手として活躍した者<br>② 県選抜・地区選抜選手に選ばれた者<br>③ ①または②と同等の能力を有する者   |
| 奥越明成 | 相撲         | 男  | 次のすべてに該当する者<br>ア 相撲に関する能力・適性が特に優れている者<br>イ 志望する動機・理由が明白かつ適切である者  |
| 武生商工 | ボクシング      | 男  | 次のすべてに該当する者<br>ア ボクシングに関する能力・適性が特に優れている者<br>イ 志望する動機・理由が明白かつ適切である者   |
|      | フェンシング     | 男女 | 次のいずれかに該当する者<br>① 学校や協会が主催するフェンシングの体験教室に参加した経験を有する者<br>② 体力に自信があり、本校フェンシング部で3年間熱心に取り組む意志がある者   |
|      | 硬式野球       | 男  | 次のいずれかに該当する者<br>① 地区大会等で優勝または準優勝の実績を有し、中心選手として活躍した者<br>② ①と同等の能力を有する者  |
|      | 吹奏楽        | 男女 | 次のいずれかに該当する者<br>① 楽器の演奏に関する能力・適性が優れており、コンクールやコンテストで県大会金賞以上の実績を有する者<br>② ①と同等の能力を有する者   |
|      | ロボットコンテスト  | 男女 | 次のいずれかに該当する者<br>① 創造アイデアロボットコンテスト全国中学生大会福井県大会に出場した者<br>② 越前市ロボットコンテストまたはWRO県大会に出場した者<br>③ ①または②と同等の製作技能を有する者                               |
| 若狭東  | ボート        | 男女 | 次のすべてに該当する者<br>ア ボート競技に関する能力・適性が優れている者<br>イ 志望する動機・理由が明白かつ適切である者   |
|      | ウェイトリフティング | 男女 | 次のすべてに該当する者<br>ア ウェイトリフティング競技に関する能力・適性が優れている者<br>イ 志望する動機・理由が明白かつ適切である者  |
|      | ラグビーフットボール | 男  | 次のすべてに該当する者<br>ア ラグビーフットボール競技に関する能力・適性が優れている者<br>イ 志望する動機・理由が明白かつ適切である者  |
|      | レスリング      | 男  | 次のすべてに該当する者<br>ア レスリング競技に関する能力・適性が優れている者<br>イ 志望する動機・理由が明白かつ適切である者   |

- (注) 1 資格要件における実績は、原則として当該種目における実績とする。  
2 地区大会、地区選抜の「地区」は、県内の各地区を表す。

## 2 出 願

### (1) 出願できる学校および学科

- ア 出願は、特色選抜の対象となる学科を有する県立高校の対象学科のうち1学科に限る。ただし、コース、専攻を設置する学科においては、それぞれのコース（専攻を設置するものは除く。）、専攻を1学科とみなす。なお、推薦入学者選抜および外国人生徒等特別選抜との併願は認めない。
- イ アにかかわらず、普通、農業、工業、商業および家庭に関する大学科内の学科・コース・専攻を志願する者は、同一校・同一大学科内の学科・コース・専攻に限り、第3志望まで出願することができる。

### (2) 出願期間

- ア 福井県立高等学校入学願書（特色・外国人生徒等特別）（様式第3号。以下「特色・特別選抜願書」という。）の受付期間は、令和3年1月12日（火）および1月13日（水）とする。
- イ 受付時間は、午前9時から午後4時までとする。

### (3) 出願手続

#### ア 志願者の行う手続

- (ア) 特色選抜志願者は、特色・特別選抜願書と特色選抜志願理由書（様式第6号）に必要事項を記入し、中学校長に提出すること。なお、特色・特別選抜願書には、入学審査料として、2,200円分の福井県証紙を貼り付けること。この場合において、その証紙に消印をしてはならない。
- (イ) 他の都道府県から志願する者は、令和2年12月7日（月）から令和3年1月4日（月）までに、「県を越えて出願する場合の取扱い」の例により手続しなければならない。

#### イ 中学校長の行う手続

中学校長は、特色選抜志願者の提出した特色・特別選抜願書の記載事項に誤りのないことを確認した上で、次の書類を添付し、出願先の県立高校長に提出する。

(ア) 特色選抜志願理由書（様式第6号）

(イ) 福井県立高等学校入学志願者調査書（様式第4号）

また、障がいや病気の状況等により受験上の配慮を必要とする志願者については、受験上の配慮申請書（様式第8号）を県立高校長に提出する。

### (4) 県立高校長の処理

- ア 県立高校長は、特色選抜に係る提出書類を受け付けた場合において、記載事項について適正であると認めたときは、これを受理し、受付番号を付した上で、志願者に受付票を交付する。
- イ 県立高校長は、全出願者について受験番号を付し、特色選抜受験票を速やかに交付する。なお、受験票の交付は、中学校ごと一括して、その中学校長に対して行う。

## 3 出願者数の発表

- (1) 県立高校長は、入学願書の受付期間中の毎日、その日の受付終了時現在の出願者数を校内に掲示する。なお、電話等による出願者数の照会には、応じないものとする。
- (2) 教育委員会は、入学願書の受付期間中およびその終了後、各県立高校の課程・学科別の出願者数を発表する。

## 4 学力検査等の実施

- (1) 選抜は、志願理由書、調査書、面接および国語・英語・数学の3教科の学力検査により実施し、必要に応じ、実技試験を取り入れることができる。
- (2) 面接、学力検査、実技試験は、出願先の県立高校において、令和3年1月19日（火）に行う。

## 5 入学者の選抜

- (1) 県立高校長は、出願者から提出された志願理由書、面接、学力検査等の成績、中学校長から提出された調査書を資料として、各高等学校、各学科等の特色に配慮しつつ、その教育を受けるに足る能力・適性等を判定した上で、入学者を選抜する。
- (2) 選抜に当たっては、調査書中の「学習の記録」の「評定」の第3学年の各教科の評定と志願理由書、面接、学力検査、実技試験等の結果を総合的に審査する。なお、調査書中の「観点別学習状況」および他の記録についても、これを慎重に審査する。ただし、「出欠の記録」および「身体上の特記事項」については、修学不可能と認められるものを除くほかは、等差をつける資料としない。
- (3) 選抜に当たっては、第2志望等の理由により等差をつけることはしない。
- (4) 県立高校長は、令和2年11月30日（月）までに、特色選抜実施計画書を教育委員会に届け出るものとする。ただし、具体的な実施方法、主な設問等を記入すること。
- (5) 面接においては、教科の細部にわたる内容や家庭環境等について触れてはならない。
- (6) 県立高校長は、選抜の結果、教育委員会と協議して、募集人員を超えて合格させること、または募集人員内にとどめることができる。

## 6 合格者への通知

県立高校長は、令和3年1月21日（木）午後2時に、合格した旨を中学校長を通じ、本人に通知するものとする。ただし、合格者の発表は、令和3年3月12日（金）午後2時以降に各県立高校のホームページに受験番号を掲載する。

## 7 出願者数および合格者数の報告

出願者数および合格者数の教育委員会への報告は、一般入学者選抜の例により行う。

## 8 選抜に漏れた者の取扱い

選抜に漏れた者が一般入学者選抜を受験する場合には、改めて出願し直すこと。



## 第4 外国人生徒等特別選抜

### 1 募 集

#### (1) 実施校・実施学科・募集人員

実施校・実施学科・募集人員は、次のとおりとする。

| 学校名  | 学科名      |        | 募集人員  |
|------|----------|--------|-------|
| 足 羽  | 国 際      | 中国語コース | 10名程度 |
|      |          | 英 語コース |       |
| 武生商工 | 機械創造     |        | 3名程度  |
|      | 商業マネジメント |        |       |

#### (2) 応募資格

外国人生徒等特別選抜を志願できる者は、次のいずれにも該当する者とする。

- ア 令和3年3月に中学校を卒業する見込みの者であること。
- イ 志願する学科に対する興味・関心を有し、意欲的に学校生活を送る意志をもつ者であること。
- ウ 中学校長が、日本語指導の必要な生徒として認定する者であること。

※日本語指導の必要な生徒

日本語による簡単な日常会話はできるが、学習活動への参加に支援が必要である者

### 2 出 願

次に掲げる事項を除き、特色選抜の例による。

#### (1) 出願できる学校および学科

出願は、外国人生徒等特別選抜の対象となる学科を有する県立高校の対象学科のうち1学科に限る。ただし、コースを設置する学科においては、それぞれのコースを1学科とみなす。なお、推薦入学者選抜および特色選抜との併願は認めない。

#### (2) 出願期間

- ア 特色・特別選抜願書の受付期間は、令和3年1月12日（火）および1月13日（水）とする。
- イ 受付時間は、午前9時から午後4時までとする。

#### (3) 出願手続

##### ア 志願者の行う手続

応募資格に該当する志願者は、特色・特別選抜願書に必要事項を記入し中学校長に提出すること。なお、特色・特別選抜願書には、入学審査料として、2,200円分の福井県証紙を貼り付けること。この場合において、その証紙に消印をしてはならない。

##### イ 中学校長の行う手続

中学校長は、外国人生徒等特別選抜志願者の提出した特色・特別選抜願書の記載事項に誤りのないことを確認した上で、外国人生徒等特別選抜受験認定書（様式第7号。以下「特別選抜認定書」という。）を添付し、出願先の県立高校長に提出する。

また、障がいや病気の状況等により受験上の配慮を必要とする志願者については、受験上の配慮申請書（様式第8号）を県立高校長に提出する。

#### (4) 県立高校長の処理

受験上の配慮申請書の提出を受けた県立高校長は、障がいや病気の状況等により受験上の配慮を必要とする場合、教育委員会と協議の上、対応について検討する。

### 3 出願者数の発表

- (1) 県立高校長は、入学願書の受付期間中の毎日、その日の受付終了時現在の出願者数を校内に掲示する。なお、電話等による出願者数の照会には、応じないものとする。
- (2) 教育委員会は、入学願書の受付期間中およびその終了後、各県立高校の課程・学科別の出願者数を発表する。

### 4 学力検査等の実施

- (1) 選抜は調査書、面接および英語・数学の2教科の学力検査により実施する。
- (2) 面接、学力検査は、出願先の県立高校において、令和3年1月19日（火）に行う。

### 5 入学者の選抜

- (1) 県立高校長は、中学校長から提出された調査書その他必要な書類、面接、学力検査の成績を資料として、各高等学校、各学科等の特色に配慮しつつ、その教育を受けるに足る能力・適性等を判定した上で、入学者を選抜する。
- (2) 選抜に当たっては、調査書中の「学習の記録」の「評定」の第3学年の各教科の評定と面接、学力検査の成績等を総合的に審査する。  
なお、調査書中の「観点別学習状況」および他の記録についても、これを慎重に審査する。ただし、「出欠の記録」および「身体上の特記事項」については、修学不可能と認められるものを除くほかは、等差をつける資料としない。
- (3) 県立高校長は、令和2年11月30日（月）までに、外国人生徒等特別選抜実施計画書を教育委員会に届け出るものとする。ただし、具体的な実施方法、主な設問等を記入すること。
- (4) 面接においては、教科の細部にわたる内容や家庭環境等について触れてはならない。
- (5) 県立高校長は、選抜の結果、教育委員会と協議して、募集人員を超えて合格させること、または募集人員内にとどめることができる。

### 6 合格者への通知

県立高校長は、令和3年1月21日（木）午後2時に、合格した旨を中学校長を通じ、本人に通知するものとする。ただし、合格者の発表は、令和3年3月12日（金）午後2時以降に各県立高校のホームページに受験番号を掲載する。

### 7 出願者数および合格者数の報告

出願者数および合格者数の教育委員会への報告は、一般入学者選抜の例により行う。

### 8 選抜に漏れた者の取扱い

選抜に漏れた者が一般入学者選抜を受験する場合には、改めて出願し直すこと。

## 第5 第2次募集

全日制の課程および定時制の課程で、一般入学者選抜の合格者が一般入学者選抜の募集人員に満たない学科を有する県立高校においては、当該学科で第2次募集を行う。第2次募集を行う場合には、教育委員会および県立高校長は、その実施に係る事項を令和3年3月12日（金）に発表する。ただし、既に令和3年度福井県立高等学校入学者選抜全日制の課程、定時制の課程および特別支援学校の高等部に合格した者は、第2次募集に出願することはできない。

### 1 入学願書および調査書の受付

入学願書および調査書の提出期間は、令和3年3月15日（月）および3月16日（火）の両日とする。

なお、3月15日（月）は午前9時から午後4時まで、3月16日（火）は午前9時から正午までとする。この場合において、郵送による提出は、原則として認めないものとする。

### 2 受験に関する事前説明（定時制の課程のみ）

次に掲げる事項を除き、一般入学者選抜の例による。

- (1) 志願する者および保護者（やむを得ず保護者が来校することができない場合は、志願する者および中学校の担当者）は、志願先の高校において、入学後の学校生活等について、事前に説明を受けること。ただし、一般入学者選抜の出願前に、志願先の高校において事前説明を受けている場合は、改めて事前説明を受ける必要はない。
- (2) 事前説明期間は、令和3年3月15日（月）および3月16日（火）の両日とする。  
なお、3月15日（月）は午前9時から午後4時まで、3月16日（火）は午前9時から正午までとする。

### 3 出願手続

次に掲げる事項を除き、一般入学者選抜の例による。

- (1) 入学審査料は、1,500円とする。
- (2) 第2次募集において初めて他の都道府県から県立高校全日制の課程に出願する者は、令和3年2月26日（金）から3月10日（水）正午までに「県を越えて出願する場合の取扱い」の例により手続しなければならない。
- (3) 定時制の課程に出願する者で、一般入学者選抜において、志願先の高校の定時制の課程に出願している場合は、出願時にその旨を申し出ること。
- (4) 県立高校長は、入学願書の提出を受けた場合、受付番号の代わりに受験番号を付し、受付票の代わりに受験票を交付する。

### 4 出願者数の発表

- (1) 県立高校長は、入学願書の受付期間中、受付があるごとに各学科・コースごとの募集人員、出願者数を校内に掲示するとともに、受付終了時には、その日の最終出願者数を校内に掲示する。なお、電話等による出願者数の照会には、応じないものとする。

- (2) 教育委員会は、入学願書の受付期間中およびその終了後、各県立高校の課程・学科別の出願者数を発表する。

## 5 学力検査等の実施

- (1) 出願者は、全員、出願先の各県立高校で実施する学力検査等を受けなければならない。
- (2) 第2次募集に係る学力検査等は、国語・英語・数学の3教科の学力検査および面接とし、必要に応じ、作文を課すことができる。
- (3) 各県立高校長は、令和2年11月30日(月)までに、具体的な実施方法および面接等に係る主な設問等を付した実施計画書を教育委員会に届け出るものとする。
- (4) 第2次募集に係る学力検査等は、令和3年3月17日(水)に実施する。

## 6 選抜の方法

- (1) 県立高校長は、中学校長から提出された調査書その他必要な書類、学力検査の成績等を資料として、各高校・学科等の特色に配慮しつつ、その教育を受けるに足る能力・適性等を判定した上で、入学者を選抜する。
- (2) 選抜に当たっては、調査書中の「学習の記録」の「評定」の第3学年の各教科の評定と学力検査の成績を総合的に審査する。なお、調査書中の「観点別学習状況」および他の記録についても、これを慎重に審査する。ただし、「出欠の記録」および「身体上の特記事項」については、修学不可能と認められるものを除くほかは、等差をつける資料としない。
- (3) 県立高校長は、調査書その他必要な書類、学力検査の成績等による判定の結果、入学が適当と認められる者の数が募集人員に満たない場合には、教育委員会と協議の上、合格者数を募集人員内にとどめることができる。
- (4) 県立高校長は、募集人員を超えて合格者を決定する場合には、教育委員会と協議しなければならない。

## 7 合格者の発表

当該県立高校長は、令和3年3月18日(木)午後2時以降に、合格者の受験番号を各県立高校のホームページに掲載する。また、中学校長を通じ本人に通知するものとする。

なお、教育委員会への報告は、一般入学者選抜の例による。

## 第6 その他

- 1 県立高校長は、入学願書、調査書その他出願に必要な書類に不正な記載があった場合には、志願者の入学を取り消すことができる。
- 2 県立高校長は、志願者の取扱いその他選抜に係る事項で、この要項によりがたい特別な事情がある場合には、教育委員会と協議の上、決定するものとする。